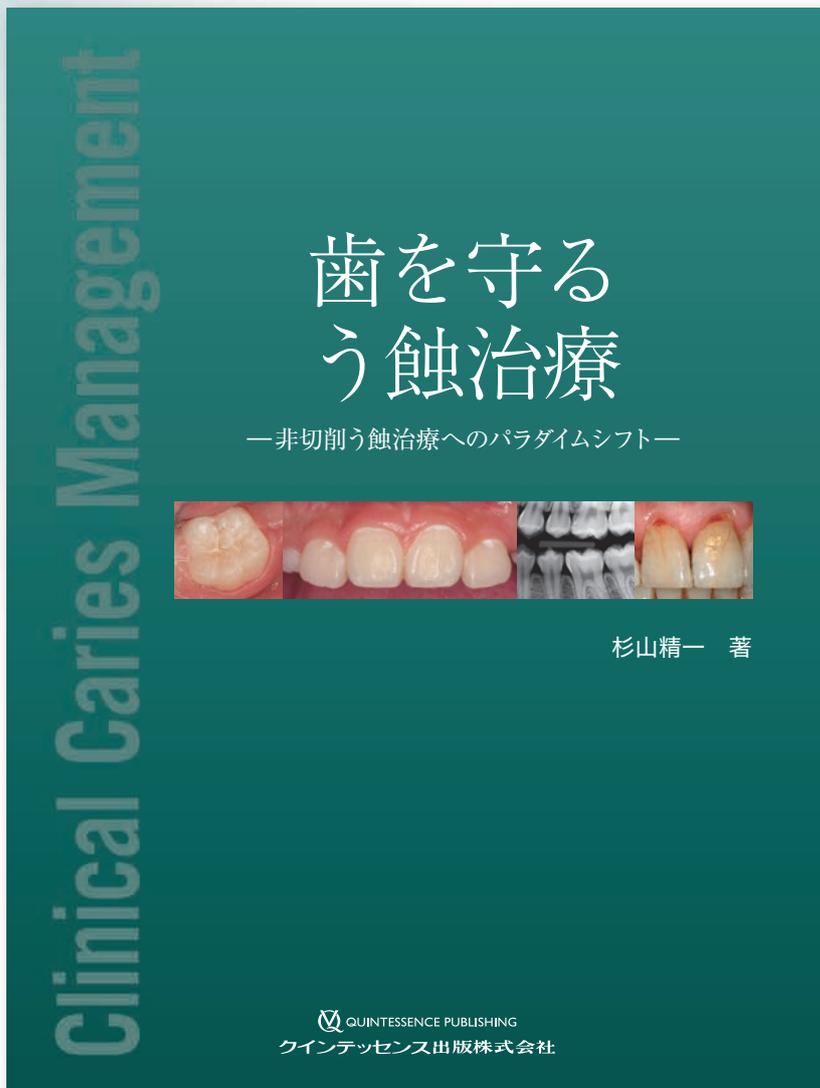


歯を守る う蝕治療

—非切削う蝕治療へのパラダイムシフト—

杉山精一 著

歯科医療従事者にとってもっとも身近なう蝕治療を、
患者の人生に寄り添ったものに変えていくための一冊



新しいう蝕の診断方法である「ICDAS」,
「XR」、最新のフッ化物情報、カリエスリス
クアセメントの方法、口腔内写真撮影の方
法などを事例とともに詳細に解説した、非切
削う蝕治療の最新手引き書

CONTENTS

Chapter 1 なぜカリエスマネジメントか？

- 1 カリエスマネジメントの目指すところとは？
- 2 カリエスマネジメントの成果

Chapter 2 カリエスマネジメントの実際

- 1 ICDASとXRをマスターしよう
- 2 カリエスマネジメントに必要なフッ化物の知識
- 3 カリエスリスクアセスメント

Chapter 3 咬合面のカリエスマネジメント

- 1 咬合面う蝕のカリエスマネジメント
- 2 Hidden cariesに注意
- 3 シーラントをどう適応して経過を見るか
- 4 MIHにも注意しよう

Chapter 4 隣接面のカリエスマネジメント

- 1 隣接面う蝕のカリエスマネジメント
- 2 隣接面に対するシーリング治療「Icon」

Chapter 5 前歯部のカリエスマネジメント

- 1 前歯部のカリエスマネジメント

Chapter 6 根面う蝕のカリエスマネジメント

- 1 根面う蝕のカリエスマネジメント

Chapter 7 長期症例

- 1 成人までの長期症例



数多くの長期症例と、データ分析から導き出された、 非切削う蝕治療解説の決定版

ICDAS, XRを用いた歯変の記録方法

う蝕病変の活動性(Activity)

歯変(活動性, Active)なのか、あるいは過去に生じた歯変で現在は進行を停止(非活動性, Arrest)している状態なのかを判断することである。

う蝕病変の活動性として記録しチェック記録表に記入し、もう1つ歯変の活動性、う蝕活動型である、記録表チェック記録表で発見したう蝕病変が進行中の歯変の写真(裏11-13)をもとめて、あわせて記録

ICDASとXRを用いた記録方法

活動性評価項目	非活動性(非活動性)	う蝕活動性(活動性)	治療
歯変の深さ	プラークが除去されない状態	プラークが除去される状態	非切削治療、切削治療、充填治療、根管治療
歯変上のプラーク	少量またはなし	多い、硬いプラーク	
歯変の色	黄褐色、茶褐色	くすんだ色、不透明で黄白色	
歯変の形状	歯変でプラークが堆積し、硬い歯変	歯変が平滑でプラークが堆積しにくい	
歯変の位置	歯変が歯冠にあり、プラークが堆積しやすい	歯変が歯冠にあり、プラークが堆積しにくい	

ICDASとXRを用いた記録方法

ICDASとXRを用いた記録方法

ICDAS と XR による
初期う蝕の記録方法を解説

問診でカリエスリスクを把握し、
患者と共有するための
CRASP によるカリエスリスク
アセスメントの方法も、
大きな図を使用して詳細に掲載



CRASP記録用紙の構成

CRASP (Caries Risk Assessment System with Non-invasive) は、患者の口腔内環境、生活習慣、家族歴、歯の健康状態を総合的に評価するためのツールです。

CRASPは、問診、口腔内視診、X線検査、唾液検査、歯の健康状態の5つの項目から構成されています。

CRASPを用いてカリエスリスクを把握した3症例

問診内容の評価項目、目的、注意

1. 患者の口腔内環境、生活習慣、家族歴、歯の健康状態を総合的に評価するためのツールです。

2. 問診内容の評価項目、目的、注意

3. 問診内容の評価項目、目的、注意

4. フッ素塗布の頻度

5. フッ素塗布の方法

6. 歯磨きの頻度

「ザ・クインテッセンス」で好評を博した連載と特集を書籍化。収録にあたり、「成人までの長期症例」と、杉山歯科医院の診療のコツ「カリエスマネジメントTIPS」が新たに加わりました

きりとり線

注文書 歯を守る う蝕治療 —非切削う蝕治療へのパラダイムシフト—

モリタ商品コード:208040849 冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。 2022-6